青山学院大学

高校までに培った能力を評価し発展させる新時代の入学者選抜を展開

青山学院大学では、募集人数の多い「一般選抜（個別学部日程）」で、記述・論述式問題の充実化や多面的な思考力を問う総合問題などを導入している。基礎学力は大学入学共通テストで測り、各学部・学科の学びへの適性は独自問題で評価。受験生の学びの背景を多面的・総合的に判断する。

青山学院大学の「理念」の体現をめざし、入学者選抜制度を改革

文部科学省が高大接続改革を進めるなか、青山学院大学は次代を担う人材の育成に向けて入学者選抜制度の改革を行っている。募集人数の多い「一般選抜（個別学部日程）」で、2021年度から記述・論述式問題の充実化や多面的な思考力を問う総合問題などを導入したのだ。

従来の「一般選抜（個別学部日程）」は主に本学の独自問題による3教科型だったが、新たにスタートした入試では「大学入学共通テストと独自問題の併用型」をほとんどの学部・学科で採用している。高校までに身につけた知識・技能に加え、思考力・判断力・表現力を評価するべく、独自問題には記述式・論述・総合問題も含まれる。基礎学力は大学入学共通テストで測り、各学部・学科の学びへの適性は独自問題で評価するシステムだ。独自問題の内容は、学部・学科がそれぞれのアドミッションポリシーに沿って作題している。

高校生がもつ本来の力を見い出し、アドミッションポリシーへの適正を測る

青山学院大学の一般選抜の方式は大きく分けて3種類となる。

一般選抜（個別学部日程）は、大学入学共通テストと「独自問題」を組み合わせた併用型の選抜方式、学部のアドミッションポリシーに応じた「独自問題」のみを使った選抜方式の2種類に大別される。前者の併用型は、経済学部を除くすべての学部で実施。指定した大学入学共通テストの教科・科目のスコアに加え、「独自問題」として「記述式を含む総合的な問題」、または「記述式を含む個別科目問題」、「論述」を課す。記述式と言っても、新聞で社会情勢に関心を持ったり、先生や仲間と授業で議論したりする経験を積んできた生徒にとっては、むしろ取り組みやすい選抜方式とも言えるだろう。また、国際政治経済学部（一部の学科・方式を除く）と総合文化政策学部（一部の方式を除く）の併用型では、英語資格・検定試験のスコアを出願資格として利用する。

一般選抜（全学部日程）は、各学部・学科が指定する教科・科目において、「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」の評価に重点を置く大学独自問題を実施する。

大学入学共通テスト利用入学者選抜は、大学入学共通テストの成績のみで評価し、全学部・全学科で実施する。この方式では、各学部・学科が指定する大学入学共通テストの教科・科目のスコアを利用して選抜を行う。これまで、3科目型が中心であったが4～6科目型を増やし、国公立大学を志望している受験生が受けやすい方式を追加した。「英語」はリーディング100点、リスニング100点の配点比率を変えずに各学科が定める外国語の配点に換算する。

学長
阪本 浩

期待する受験生像

自分で考え、行動できる人材を育成する教育が求められる今、青山学院大学の入学者選抜も新時代に合わせて大きく変わろうとしています。とはいえ、それは特別なものではありません。高校での学習範囲をしっかり学び、力をつけてきた生徒を正しく評価することが大前提です。求めるのは暗記力ではなく、主体的に学ぶ姿勢です。そして、入学までに培った知識や技術を引き継ぎ、大学で大きく発展させるのが私たちの使命です。「この大学で自分の個性を伸ばしたい」という生徒に積極的にチャレンジしてほしいと思います。

INFORMATION

オープンキャンパス
［対面形式］相模原キャンパス
7/10 SUN
理工学部・社会情報学部・
地球社会共生学部・
コミュニティ人間科学部

青学オンライン［オンライン形式］
7/28 THU **～9/30** FRI
全学部

2023年度入学者選抜説明会
［対面形式］青山キャンパス
8/2 TUE **・3** WED
全学部

お問い合わせ先：入学広報部　〒150-8366 東京都渋谷区渋谷4-4-25　TEL.03-3409-0135

入試改革に至った出発点は青山学院大学の理念にある

入試改革に至った出発点は、本学が1996年に明文化した理念「地球規模の視野にもとづく正しい認識をもって自ら問題を発見し解決する知恵と力をもつ人材を育成する」にあります。
昨今の高大接続改革で、知識・技能だけではなく、思考力・判断力・表現力を伸ばすことの重要性が叫ばれていますが、本学が掲げてきた理念はその流れに合致したものでした。
初等中等教育においてもアクティブ・ラーニングなどが取り入れられ、一方的な知識の詰め込みではなく、自ら能動的に学ぶ教育を日本全体でめざそうとしています。
受験勉強も例外ではなく、教科書を読んで断片的な知識を暗記する従来型から脱却しなければなりません。
大学入試が日本の教育改革を阻む壁になってはいけないという意味でも、本学の取り組みには大きな意義があると考えています。

思考力・判断力・表現力を伸ばす青山学院大学の高大接続図

アロー総研のフカボリ

幅広い教養と豊かな人間性を育み、主体的に学ぶ学生を伸ばす「青山スタンダード」

青山学院大学には、入学者選抜改革により「自ら考え、主体的に学ぶ」素養をもつ新入生がより多く入学している。このような学生の力をさらに伸ばす役割を担うのが、全学共通教育システム「青山スタンダード」だ。さらに特徴的なのは教養・技能の修得に加え、異なる学部・学科の学生がゼミナール形式で共に学ぶ「フレッシャーズ・セミナー」等の導入科目。学問的なものの見方や考え方を知り、分析や表現など大学で学ぶ基礎的なスキルを身につけることで、より専門性の高い教育・研究へ移行するための土台を作る。今後も青山学院大学は、青山スタンダード科目と専門科目のつながりを重視し、高大接続の環境を整えていく。

「大学入学共通テスト利用入学者選抜」を効果的に活用しよう。

青山学院大学の「大学入学共通テスト利用入学者選抜」は、これまで3科目型が中心だったが、2023年度入学者選抜より、新たに合否判定に利用できる科目数を増やした方式を設ける。

この選抜方法では、青山学院大学の試験場に来校せずに受験ができるため、受験活動の効率化に繋がるほか、各学部・学科で求める科目の成績を提出できれば、複数の併願が可能になるなど受験機会の拡大にもなる。

2023年度入学者選抜の方式について　詳細は青山学院大学公式ウェブサイトでご確認ください。

入学者選抜種別		独自問題	大学入学共通テスト※1	英語資格・検定試験※2
①一般選抜（個別学部日程） 学部・学科・方式※3により、右記（Ⅰ）～（Ⅲ）のいずれかの形態で実施します。	（Ⅰ）	独自問題	大学入学共通テスト 学部・学科が指定する教科・科目の成績	
	（Ⅱ）	独自問題	大学入学共通テスト 学部・学科が指定する教科・科目の成績	英語資格・検定試験 【出願資格として利用】（提出必須） ■国際政治経済学部（一部の学科・方式を除く） ■総合文化政策学部（一部の方式を除く）
	（Ⅲ）	独自問題		
②一般選抜（全学部日程） 全学部・全学科、同一日に実施します。		独自問題		
③大学入学共通テスト利用入学者選抜 全学部・全学科で実施します。			大学入学共通テスト 学部・学科が指定する教科・科目の成績 **★複数の学部・学科※4で新規科目型を実施**	

※1 大学入学共通テストの「英語」の得点を扱う場合には、リーディング100点、リスニング100点の配点比率を変えずにそのまま合計して200点満点としたうえで、各学科等が定める外国語の配点に換算して利用する。
※2 英語資格・検定試験の扱いに関する詳細は、青山学院大学公式ウェブサイトを参照
※3（Ⅰ）文・教育人間科・法・経営・国際政治経済・総合文化政策・理工・社会情報・地球社会共生・コミュニティ人間科学部
（Ⅱ）国際政治経済・総合文化政策学部
（Ⅲ）文学部英米文学科（一部の方式）・経済学部・理工学部（一部の方式）
※4 文学部史学科・法学部・総合文化政策学部・社会情報学部・コミュニティ人間科学部